平成26年度 中級論文発表会 日程表

一人 25 分　（発表15分・質疑10分）

第1回 4月17日 (木)	10:30 ～ 10:55	西川 友理	色の同化に影響を与える空間特性の検討
	10:55 ～ 11:20	株田 佳奈	先行刺激のクローズアップの程度が後続刺激における境界拡張に及ぼす影響について
	11:20 ～ 11:45	小林 捺穂	特性不安と瞬間提示による恐れ顔の検出力との関係

第2回 4月24日 (木)	10:30 ～ 10:55	松永 拓	要求水準が価値観に及ぼす影響について
	10:55 ～ 11:20	鈴木 博子	Lateralityの個人差について ～利き手を指標として～
	11:20 ～ 11:45	泉 ゆりか	行動活性化システムと表情認識の関係

第3回 5月1日 (木)	10:00 ～ 10:25	島田 佳奈	ギャンブル課題におけるフレーミング効果に笑顔が及ぼす影響
	10:25 ～ 10:50	陣崎 りか	主旋律と伴奏の音数が主観的テンポに与える影響
	10:50 ～ 11:15	三本木 千尋	仮名および漢字単語の部分彩色がストループ効果に与える影響の検討
	11:15 ～ 11:40	八木綾子	有彩色範囲での記憶色効果

第4回 5月8日 (木)	10:00 ～ 10:25	高橋 千晶	刺激間の角度差が注意の瞬きに及ぼす効果
	10:25 ～ 10:50	細田 洋志	状況的不連続の処理に及ぼす二重課題の効果
	10:50 ～ 11:15	新井 祥多	微表情に関する個人差検出に最適な実験刺激について
	11:15 ～ 11:40	加藤 萌里	立体物におけるHelmholtz錯視の検討

第5回 5月15日 (木)	10:00 ～ 10:25	高野 勇典	複数要素の平均的明るさ知覚についての検討
	10:25 ～ 10:50	矢嶌 翠	蛇の回転錯視に影響する眼球運動の効果
	10:50 ～ 11:15	垣内 浩貴	連合記憶としての手がかり語が情報源記憶に及ぼす影響
	11:15 ～ 11:40	原匠太郎	社会的ジレンマ状態が集団内の協力行動に及ぼす影響

一人当たりの発表時間は質疑応答の時間(10分程度)を含めて25分です。研究内容のプレゼンテーションは約15分に収めて下さい。
自分の発表日時に都合がつかない人は、代わってくれる人を自分で探して個人的に交渉し、発表順の交代が成立したら柳に知らせて下さい。
中級論文の説明だけでなく、上級・卒論に向けての展望なども発表してくれると、発表者にとっても非常に有益な質疑が期待できます。